

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

宮城県

行事名称	宮城県指定文化財 竹駒神社唐門防火訓練
実施期間・日時	令和2年1月24日 午前9時から
実施場所	岩沼市稲荷町 竹駒神社
主催者	竹駒神社、あぶくま消防本部岩沼消防署、岩沼市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

唐門付近の照明設備配線付近からの出火想定。また火勢が強いことを想定し、消防タンク車による放水も実施。

訓練の内容

竹駒神社職員による火災発見。消防署への通報後、神社自衛消防隊が出動し、消火栓及び手押しポンプ車による放水。また消防車到着後にはタンク車からの放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

神社職員・神社自衛消防隊 (15名) : 119番通報、初期消火
岩沼市消防署 (4名) : 放水訓練、指導、統括
岩沼市教育委員会 (1名) : 現場立会い

特に工夫した点

訓練はこれまで午後であったが、参拝者の少ない午前中とした。なお、昨年相次いだ文化財焼失を事例に出し、危機意識の共有をはかった。

問題点・課題

首里城では消火・防火施設の管理体制は十分であったが焼失したことから、日常的に電気系統関係の点検や周囲に燃えやすい物品がないように配慮する必要がある。

その他

神社内では平成2年の拝殿への放火・焼失以降、年4回の消防施設の点検を行っている。また常日頃から職員が巡回を行うなど防火に努めている。

訓練風景



消防訓練（放水）の様子